

マレーシアの医療関係者、 被災者へのこころのケアを学ぶ

兵庫県・熊本県 こころのケアセンター訪問

親日家として知られるマハティール首相が今年の秋の叙勲で桐花大綬章を受章しました。このマハティール首相が1981年に提唱した「ルック・イースト(日本の発展から学ぶ)政策」はこれまで脈々と続いており、マレーシアから多くの研修員が毎年派遣されています。近年マレーシアで発生する気候変動や熱帯性暴風雨から引き起こされる大規模な洪水や地滑り等の自然災害を受け、防災対策の重要性の高まりとともに、特に災害後の被災者への心理的ケアの重要性も高まっています。今回は医療分野、心理学分野の専門家10名が来日し、被災者への心理的ケアについて学ぶ予定です。

滞在中は、「こころのケア」に関する調査研究、人材育成・研修、相談・診療、情報の収集発信・普及啓発、連携・交流など多様な機能を有する全国初の拠点施設である兵庫県こころのケアセンターにて災害時の被災者への心理的ケアを総合的に学びます。

11月22日には、熊本県を訪問します。震災後、復興へと歩みを進める熊本県での被災者への心理的ケアの取り組みを実例として学びます。

ぜひ取材していただければと思います。

研修期間：11月19日(月)－11月30日(金)

| | | | |
|-----------|---------------|---|-----|
| 11月22日(木) | 熊本県 | ・熊本県益城町訪問 ・熊本県こころのケアセンター訪問 | 取材可 |
| 11月24日(土) | 兵庫県こころのケアセンター | ・神戸クロスロード研究会によるワークショップ 災害発生時のジレンマを含む難しい判断を模擬体験します。 | 取材可 |

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 立花 静香

TEL 078-261-0386 e-mail : Tachibana.Shizuka@jica.go.jp